

交通事故に気をつけよう!!



いよいよ11月(霜月)に入りました。今年も残すところ後2か月となりました。だいぶ寒くなってきたので、風邪など体調を崩す人もいるかと思います。今年は新型コロナ以外にもインフルエンザも大流行するかもしれないと言われています。感染症対策は引き続き気を抜いてはいけませんが、それと同時に最近気になるのが交通事故です。本校でも大きな事故にあった人がいます。

交通事故については、こちらが気をつけて交通マナーを守っていても車や自転車の方からぶつかってくる場合もあります。地域の方々からは「道いっぱい広がって歩いていて、車に気づいていない」「おしゃべりしながら歩いている」「道端で数人が集まったり、遊んだりしている。」等々…いずれにしてもとても危ない、迷惑になっているのご指摘をいただくことが多々あります。自分の身を守るためにも、通行の妨げにならないようにも気をつけてください。

学校長の話より

地域の方々からは、困ったお話ばかりではなく、良いお話も寄せられます。先日は本校の生徒が自転車で転倒した親子を助けて介助してしてくれた様子を伝えてくれました。何もしないで通り過ぎる人ばかりの中、心配そうに駆け寄る姿にとっても感心したそうです。私もそのお話をお聞きしたとき、とても晴れやかな気持ちになりました。その生徒の優しい・勇気ある行動に感謝・感謝です。

「人に親切にしたい」「善いことをしたい」と考えている人は多いと思います。しかし実際に行動するときには躊躇してしまうことが多いです。そこには「恥ずかしい」「いい人ぶっていると思われたくない」「迷惑がられたらどうしよう」という不安もあるのかもしれません。ですので、親切には勇気が必要なのです。いざという時にこの勇気を出すための力は日常にあります。日ごろから思いやりを持って、努めて善い行いを続けることで自然とこの勇気を貯めていくことができるのです。そうすれば人間性が向上し、自らの人生が豊かになっていくことでしょう。

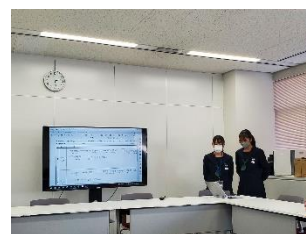
また、少し視点を変えて「情けは人のためならず」という言葉があります。「親切な行いは相手のためではなく、自分のためになるものだ」ということですが、現在は、それを科学的に証明しようという研究が各国で行われています。例えば、ボランティア活動や人の

ためになる行動をすると、ストレスや不安が軽減されるということがわかっているそうです。その他にも、利他的な行為によって肉体的な痛みが和らぐことが証明されています。人のためなら肉体的にも本当に痛くないということです。人のために何か行動したとき、感じた痛みがどうなったかを様々に調べてみると、例えば自発的に献血をした人たちは、そうでない人たちよりも、注射針の痛みを感じなかったといえます。また、寄付を行った後に電気ショックを与えられた人は、「その寄付がどんな役に立つか」と考えていたことで、ショックの反応が弱まったそうです。誰かのために行動するときは勇気が湧き、前向きな気持ちになるため、痛みを感じにくいのかもしれません。善い行いは精神だけでなく肉体においてもよい影響があるといえるのです。

2年生が職場体験

毎年恒例の職場体験学習。今年も2年生が公共機関をはじめ、金融・医療・製造・接客等々、64事業所で実施されました。受け入れてくださった皆さん本当にありがとうございました。コロナ禍にあって大変なことであったと思いますが、事前学習の訪問・挨拶からとてもお世話になりました。2年生にとってとても良い体験になりました。現在、事後学習としてお礼のお手紙とともにレポートを写真等も入れて作成しています。

生徒の皆さん、この2日間は緊張からとても疲れたと思います。事業所の皆さんからは「とても頑張ってくれています。」とのお褒めの言葉をたくさんいただきました。挨拶から始まり、マナーや作業等々、慣れないことの連続の中で、感じることは多かったと思います。これを機に自身の将来の職業に思いを馳せてみてください。



学校元気UP放課後学習会

11月の元気UP勉強会は、次の通りです。

○ 11月2日(水) 9日(水) 10日(木) 17日(木) 30日(水)

【それぞれ 15:30 ~ 17:00 まで】

○ 図書室もしくはその他の部屋 ○ 学習教材は各自持参のこと。

